

1、 子どもが人としても尊厳や子どもの権利を守り、守られ、いじめやあらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重し、尊重される生活を子どもと共に創る。

1－1：保育者の都合を優先させないで子どもの最善の利益を考慮し、保育をしていますか。

時間に追われ、次にしなければならないことが控えている。保護者が迎えに来る。○○先生との交代がある、、など、保育の中で時間や保育者(大人)の都合によって子どもたちの利益を損なう場面は日常的に存在します。しかし、出来うる限り子どもにとって最善の利益を得られるよう考えて保育を進めましょう。必ずしもというわけにはいかないでしょうが、常に念頭に置いて行動するだけでも変わってくるはずです。

1－2：集団の中で、子どもと保育者の1対1の関係を大切にしていますか。

大勢に子どもをみている日常で、一対一という場面を維持するのは大変難しいことだと思います。保育士と園児数が保育者にとって圧倒的に不利な日本では特に難しい場面もあります。しかし、常に大勢対保育士ではなく必要な場面では一対一の関係を大切にしてください。

1－3：子どもの声（意見）を十分に聞き、また保育者の意見を子どもにきちんと説明をして伝えていますか。

「1－2」の実行により子どもとも意見を交える場面は持ちやすくなるはずです。伝わるように話をしましょう

1－4：子どもの命を守り、その生活を支える養護を一人ひとりの子どもに心を込めて行っていますか。

すごく曖昧な質問ですが、心ここに在らず、という時間が無いよう、保育時間中は子どもと向き合いましょう。

1－5：子どもが育っていくための年齢に応じた環境構成（人的、物的）に心を配っていますか。

これは多くの先生ができていると思います。しかし、担任以外の保育者も積極的に環境整備に協力していきましょう。

1－6：保護者を、子育てを共に考え協働していくためのパートナーと考えていますか。

保護者との関係は非常に難しくデリケートな部分です。しかし保護者との関わりを等閑にしていては子どもたちの成長にとって良い面はありません。より良きパートナーとして関係性を築きましょう。

1－7：子どもと一緒に協働して、日々の生活を創り出すように努めていますか。

保育者だけで何事かを成すのではなく、常に子どもと一緒にできるよう心がけましょう。

1－8：子どもの遊びに参加し、共感し、その世界を広げていくように努めていますか。

積極的に子どもの遊びの輪に入ってください。眺めているだけではなく同じことを一緒にすることの大切さを今一度見つめ直してください。子どもの仲間になっていますか。

1－9：子どもの様々な行動には、その子なりのメッセージがあることを知り、子どもの味方になって代

弁し、子どもを支えていくように努力していますか。

子どもと保育者は信頼関係と常日頃の観察が大切です。子どもは常にさまざまなメッセージを出しています。それは親近者でないと分からぬ気づけないこともたくさんあります。そのメッセージに気づけるようになればより信頼関係は深まるでしょう。ぜひ気づいてあげて心強い味方になってあげてください。

1－10：子どもの成長や発達を認め、喜び合い、さらに成長していくように支援していますか。

子どもの成長を喜ぶことは誰でも出来ることです。そこから次の成長につなげるためのステップにはどういったことが必要か、何が大切か。次に必要な支援を見極め実行していくことが大切です。

1－11：保育者として研さんや専門性の向上に努めていますか。

研鑽や専門性の向上に関しては、この三年間はかなりマイナスであったと言わざるを得ません。しかし、本年度後半より様々な研修も再開しております。保育園での実践と園外での研修は保育者として成長するために大切な両輪です。